

2025年3月期 第1四半期決算の概要

AIAI

AIAIグループ株式会社

証券コード：6557

2025年3月期 第1四半期業績概要（損益計算書）

2

AIAI

©AIAI Group Corporation

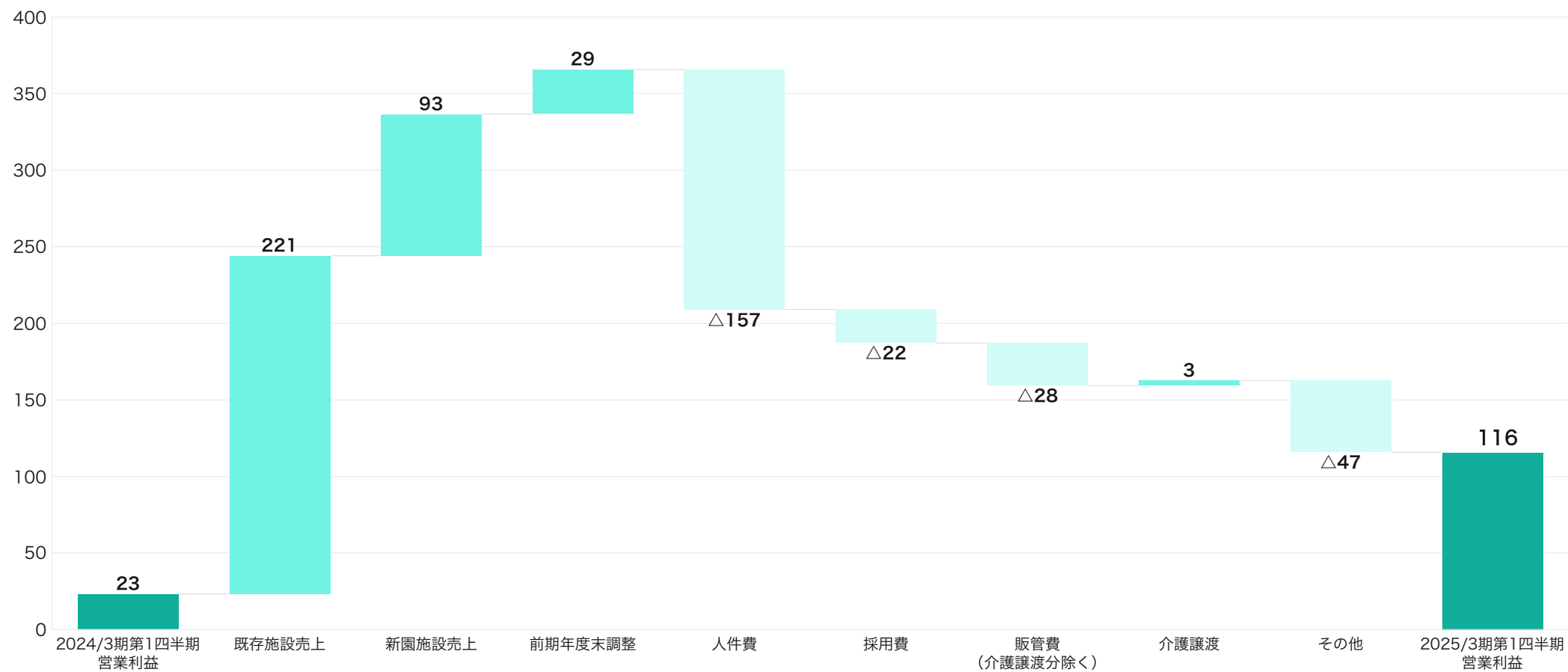
AIAI Life Care株式会社の株式譲渡による売上の剥落はあったものの、新たにAIAI NURSERY3施設を開設したほか、既存施設の園児数の増加等により売上高は前年+224百万円の3,009百万円。第1四半期では保育士の人員増加に伴う費用増はあったものの売上高の伸びが費用の伸びを上回った結果116百万円。四半期純利益は株式譲渡益及び繰延税金資産の計上に伴い203百万円。

(百万円)	2024年3月期 第1四半期		2025年3月期 第1四半期		前年差	前年比
		構成比		構成比		
売上高	2,785	100.0%	3,009	100.0%	+224	108.0%
売上総利益	337	12.1%	446	14.8%	+109	132.3%
販売管理費	314	11.3%	330	11.0%	+16	105.1%
営業損益	23	0.8%	116	3.9%	+93	504.3%
経常損益	△3	N/A	111	3.7%	+114	N/A
四半期純損益	12	0.4%	203	6.7%	+191	1691.7%

* 単位未満切捨、小数点第2位四捨五入

2025年3月期 第1四半期 前年同期からの主な増減内訳

(百万円)

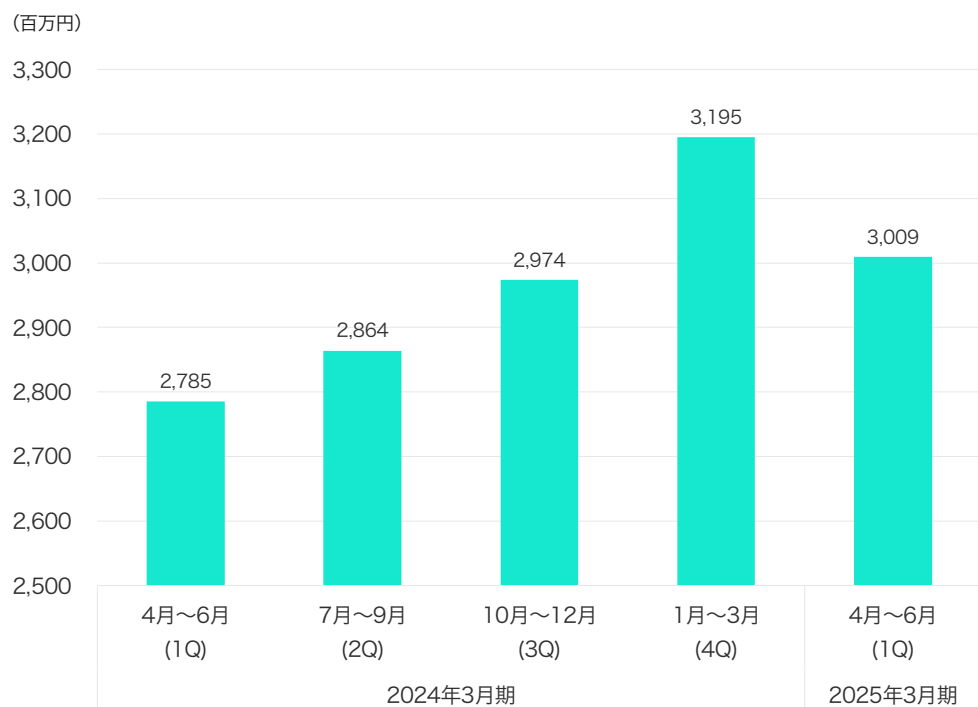


四半期会計期間推移①

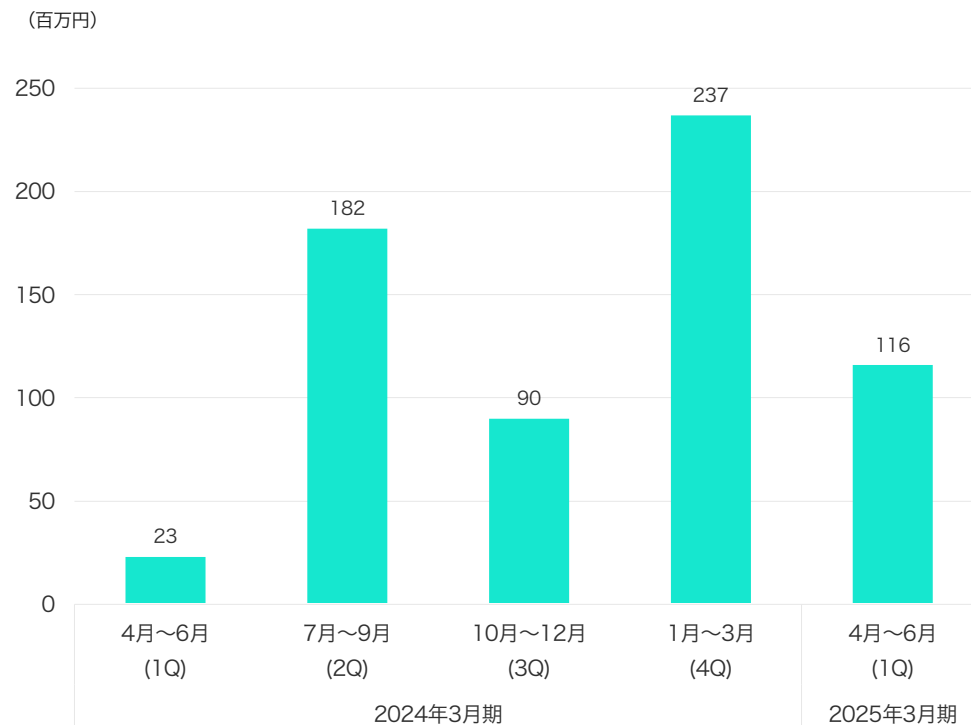
売上高は園児数の増加とともに堅調に推移し3,009百万円となり、前年同期比108.0%。
 売上の伸びが費用の伸びを上回った結果、第1四半期の営業利益は116百万円となり、前年同期比504.3%。

なお、前年度第4四半期の売上高は運営委託補助金の年度末調整等による一時的な増加があったもの。

売上高



営業損益

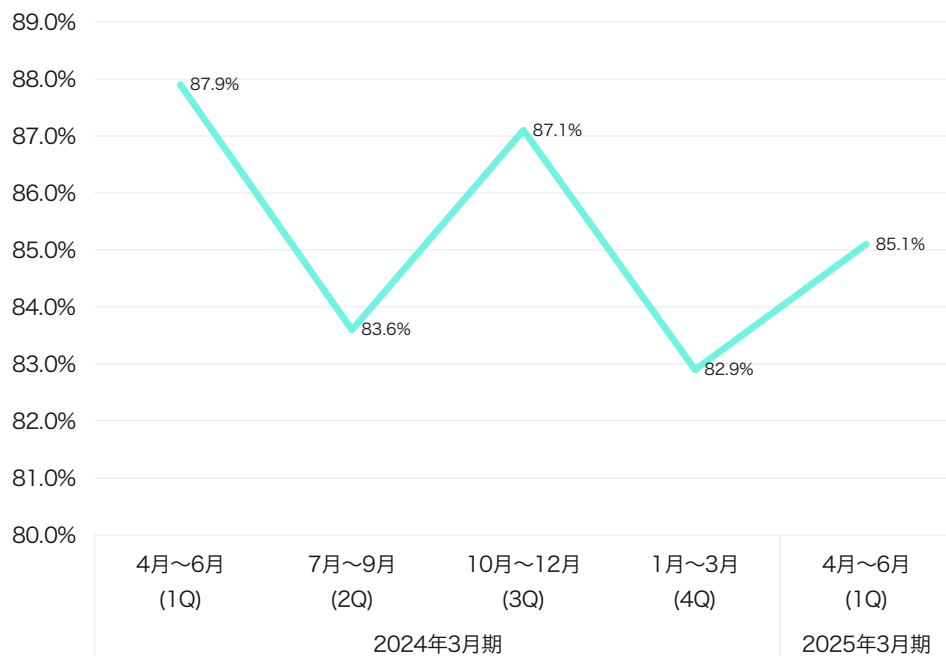


* 単位未満切捨

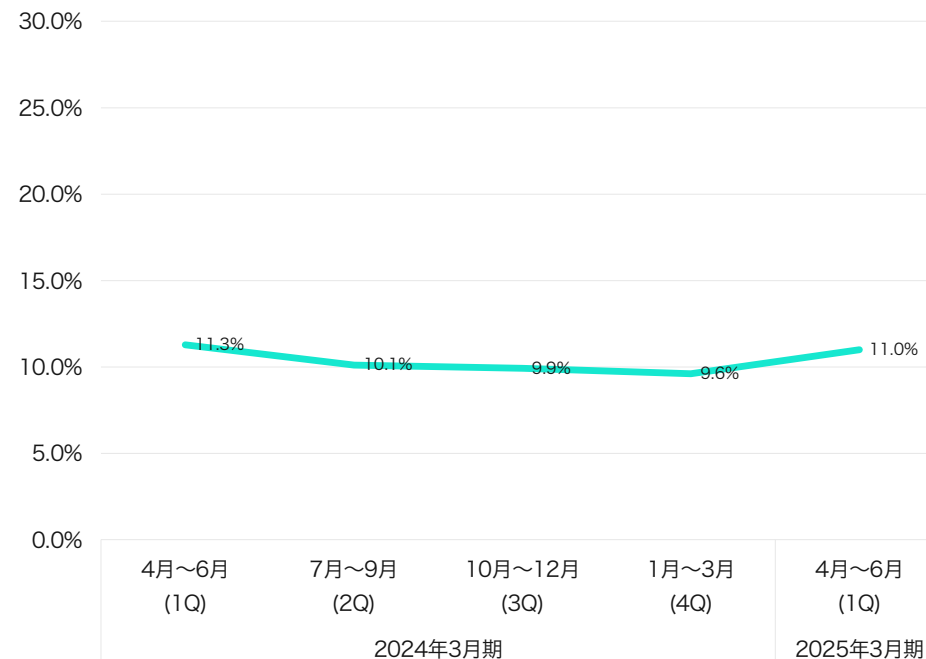
四半期会計期間推移②

売上高原価率は、第1四半期の入園児数が前年度よりも好調であったこと等から前年同期比 $\Delta 2.7$ ptの85.1%。売上高販売管理費率は、子会社の譲渡に伴う費用の減少もあったが、新規事業への投資もあり、前年と同程度の水準で推移。

売上高原価率の推移



売上高販売管理費率の推移



* 小数点第2位四捨五入

(参考) 四半期会計期間推移③損益全体

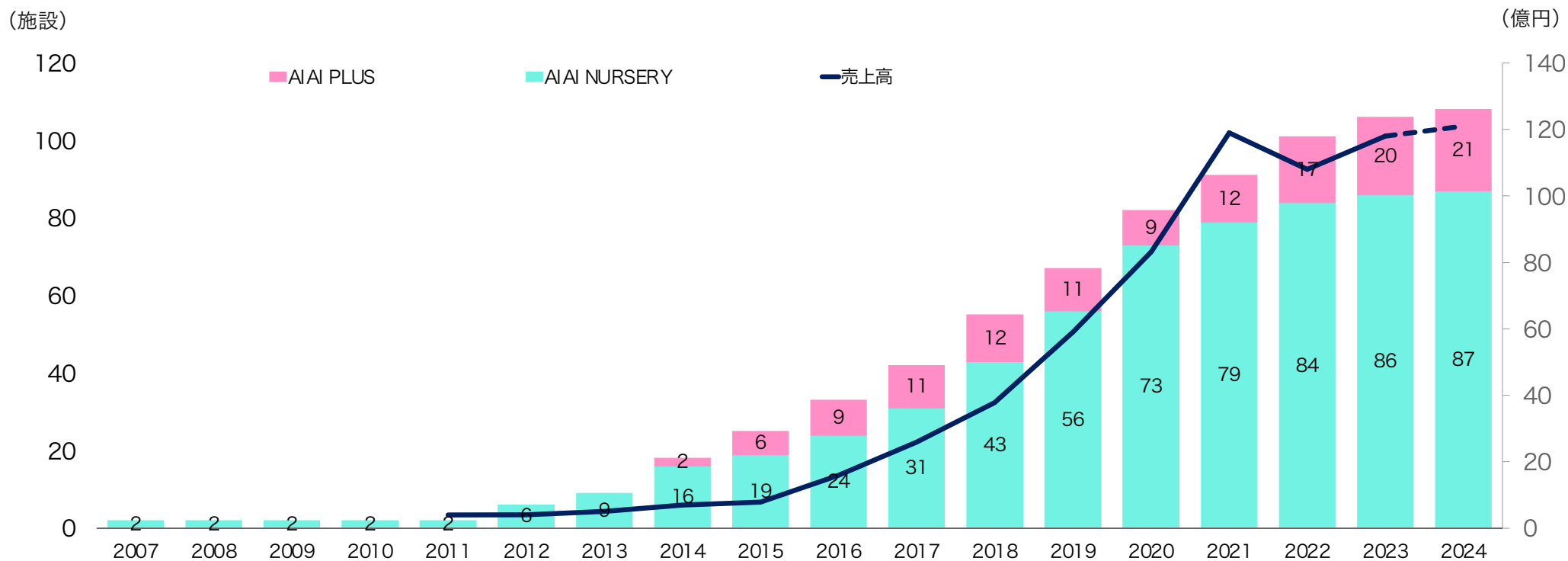
(百万円)	2024年3月期					2025年3月期	前年四半期比	直前四半期比
	2023年 4月～6月 (1Q)	7月～9月 (2Q)	10月～12月 (3Q)	1月～3月 (4Q)	累計	2024年 4月～6月 (1Q)	当1Q：前1Q	当1Q：前4Q
売上高	2,785	2,864	2,974	3,195	11,818	3,009	+224	△186
売上原価	2,448	2,393	2,591	2,650	10,082	2,562	+114	△88
売上総利益	337	471	383	544	1,735	446	+109	△98
販管費及び一般管理費	314	288	293	308	1,203	330	+16	+22
営業損益	23	182	90	237	532	116	+93	△121
経常損益	△3	157	71	650	875	111	+114	△539
税引前四半期(当期)純損益	△2	11	71	432	512	147	+149	△285
四半期(当期)純損益	12	6	46	289	353	203	+191	△86

* 単位未満切捨

売上高・施設数の推移

施設数の増加に伴い売上高も増加基調を維持（2024年度売上高は業績予想値）。
2024年4月時点の施設数はAIAI NURSERY87か所、AIAI PLUS21か所となり、グループ合計は108施設。

売上高と施設数の推移



* 2021年度は15ヶ月変則決算。施設数は2024年4月時点。

AIAI NURSERY（認可保育）の園児数および充足率の状況

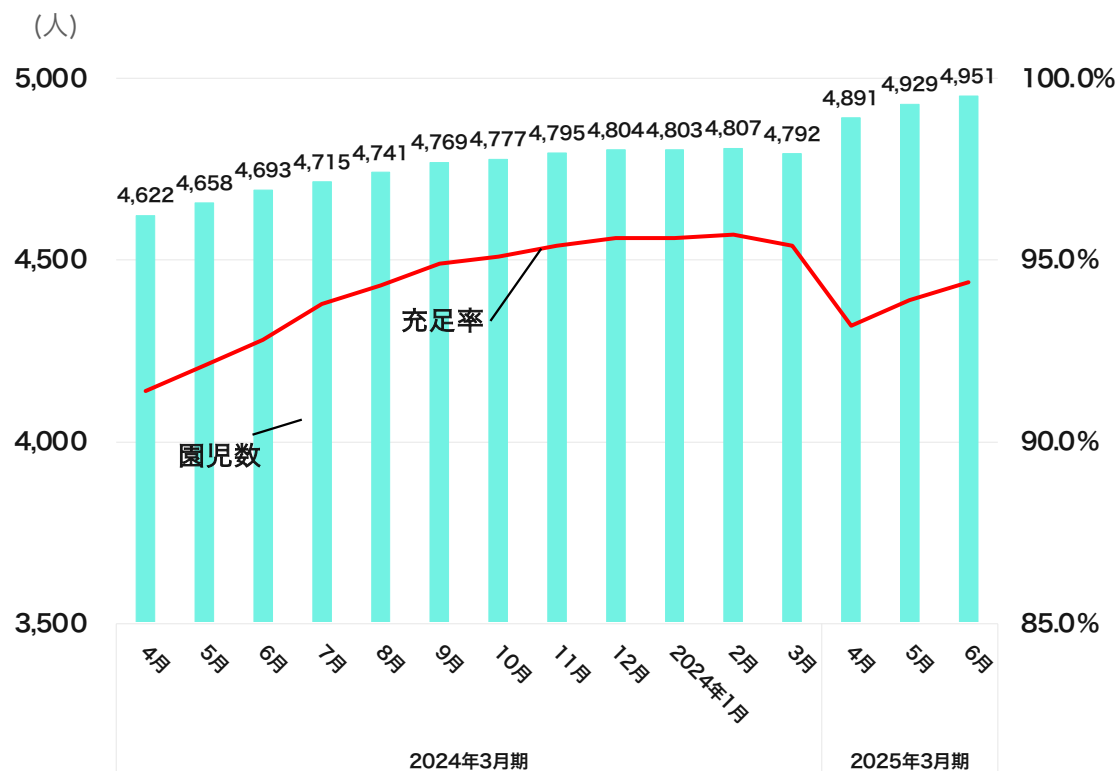
4月から新たにAIAI NURSERY3施設を開設するとともに既存施設の充足率も向上し園児数が増加。
充足率は定員数の拡大により4月に一時的に低下したものの前年同期を上回る水準で推移し6月末は94%。

園児数の状況

	2024年6月 在籍数(人)	充足率
0歳児	390	85%
1歳児	895	104%
2歳児	946	100%
3歳児	952	96%
4歳児	912	92%
5歳児	856	86%
合計	4,951	94%

• 小数点以下四捨五入

園児数及び充足率の推移



2025年3月期 業績予想に対する進捗

第1四半期時点における業績予想に対する進捗については、おおむね想定通り推移。

第2四半期以降は、第1四半期にあった前期年度末調整の影響が剥落することに加え、新たに導入した株主優待の費用のほか、保育士の処遇アップのため冬季賞与の増額、M&A費用等を見込んでいることなどから、当初予想を据え置いている。

(百万円)	2025年3月期 業績予想	2025年3月期 第1四半期	進捗率
売上高	12,100	3,009	24.9%
営業損益	500	116	23.2%
経常損益	600	111	18.5%
四半期(当期)純損益	400	203	50.8%

* 単位未満切捨、小数点第2位四捨五入

A I A I 三育圏の拡大に向けたM&Aの強化のため、ストームハーバー証券株式会社と業務協力に関する覚書を締結。

業務協力の背景・目的

- AIAI 三育圏の範囲の拡大に資する同業他社等をターゲットとして、M&A又は戦略的提携についても積極的に検討を進める方針。
- 今後の持続的成長のため、多方面において専門的パートナーとの協業を推進。
- ストームハーバー証券との本業務協力に基づき、両社それぞれが有するリソースの連携やノウハウ及びネットワークの相互活用を行うことによって、当社グループにおけるM&A戦略を強化し、新たなM&Aスキーム及びM&Aに伴う資金調達スキーム等を考案・構築していく。
- なお、ストームハーバー証券は当社第6回・第7回・第8回新株予約権の財務アドバイザーとしても協力。

業務協力の内容

- M&A案件の紹介・情報提供
- M&Aスキームの考案・構築
- M&A戦略及び手続き全般に関するアドバイス
セカンドオピニオンの提供
- M&Aに伴う資金調達スキーム・リスクヘッジ
戦略等の考案・構築
- 共同プロジェクトに参画する投資家・金融機関・
事業法人等の紹介
- その他両社に有用な情報の相互提供

STORMHARBOUR

当社株式について、2024年9月末日を基準日として1：2の割合による株式分割を実施予定。

株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性を向上し、投資家層の拡大を図る。

日程

基準日公告日（予定）	2024年9月13日（金）
基準日	2024年9月30日（月）
効力発生日	2024年10月1日（火）

分割の概要

- ① 分割の方法
2024年9月30日(月)を基準日とし、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を1株につき2株の割合をもって分割。
- ② 分割の概要

株式分割前の発行済株式数（※）	3,277,381株
今回の分割により増加する株式数（※）	3,277,381株
株式分割後の発行済株式数（※）	6,554,762株
株式分割後の発行可能株式数	16,000,000株

※2024年7月24日付「第8回新株予約権（第三者割当）の行使完了に関するお知らせ」のとおり、第8回新株予約権が行使されたことに伴い、2024年7月19日付「株式分割及び定款の一部変更並びに株主優待制度導入に関するお知らせ」から発行済株式数の数値に変更あり。

株主優待制度の導入

2024年9月末日の基準日より、株主優待制度を導入。
QUOカードもしくはデジタルギフト年間30,000円分を中間（9月末）及び期末（3月末）に15,000円分ずつ対象株主様へ進呈。

株主優待制度導入の目的

株主還元は経営上の重要な施策の1つとして認識。
現在は事業拡大の段階にあり、内部留保についてはM&Aや設備投資、新業態の開発のための成長投資や財務体質の強化等を優先するため配当は実施していないものの、進行中の「AIAIグループ中期経営計画2023～2025」の着実な進捗を踏まえ、株主様の日頃のご支援に感謝するため株主優待制度を導入。

対象となる株主様・優待の内容

基準日	対象株主様	優待内容
9月末	300株（単元株）以上保有の株主様	QUOカードもしくはデジタルギフト15,000円分
3月末	300株（単元株）以上保有の株主様	QUOカードもしくはデジタルギフト15,000円分

優待の開始時期

2024年9月末日の株主名簿上で当社株式を300株以上保有されている株主様を対象として開始。
なお、2024年10月1日の株式分割後は、分割後の300株以上を保有されている株主様を対象。

■免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。

当社は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としております。また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容につきまして、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開または利用することはご遠慮ください。